



Japan.
Endless
Discovery.



JNTO

訪日外客訪問地調査

2010



編著：日本政府観光局 (JNTO)
Japan National Tourism Organization



発行：財団法人 国際観光サービスセンター (ITCJ)
International Tourism Center of Japan

はじめに

日本政府観光局（JNTO）は、この度、訪日外国人旅行者を対象としたインタビュー調査である「JNTO 訪日外客訪問地調査」の2010年調査結果をとりまとめました。本調査は、2010年2～10月に冬、春、夏、秋の4回に分けて、全国9空海港で実施したもので（回答者数21,342人）、訪日旅行中の訪問先を始めとする外国人旅行者の旅行動向を把握するため、毎年行っているものです。本書に掲載されている各種データは、インバウンド・ツーリズム振興を推進する国、地方自治体、観光関連団体、業界等の皆様から、「観光立国」実現に向けた諸施策の企画・実施を行う際の基礎資料として広くご活用いただいております。

今回の2010年調査では、従来の冬、夏、秋の3回の調査に加え、新たに春にも調査を実施し、それに伴いサンプル数が初めて2万票を上回りました。2010年の訪日外客数は861万人ですので、まだ一部に過ぎませんが、サンプル数の増加は、集計結果の精度向上につながります。特に、これまで十分なサンプル数を得られなかった市場ほど、より実態に即した結果を示すことができたものと考えております。

さて、本調査は、1980年代より毎年実施してまいりましたが、この度、JNTOにおける業務全般の見直しの結果、2011年2月に行った調査（後日結果公表予定）を以って、本調査は一旦終了となり、今後は、観光庁が年に4回実施している訪日外国人調査に役割を一元化させることとなる見込みです。これまで、長年にわたり、本調査に各方面からの高いご関心を賜り、誠に感謝申し上げます。

最後になりましたが、今回も、本調査の実施に際し、関係の皆様より多大なご支援、ご協力を賜りました。新千歳空港、仙台空港、成田国際空港、羽田空港、中部国際空港、関西国際空港、福岡空港、那覇空港、博多港の入国管理局、税関、空港事務所、さらに、北海道空港株式会社、仙台空港ビル株式会社、成田国際空港株式会社、日本空港ビルディング株式会社、中部国際空港旅客サービス株式会社、関西国際空港株式会社、福岡空港ビルディング株式会社、博多港国際旅客ターミナル運営共同事業体、那覇空港ビルディング株式会社、財団法人国際観光サービスセンターなどの関係諸機関、企業の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。同時に、東日本大震災の影響により、3月時点で完全に運用が再開されていない仙台空港の関係諸機関の皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。

日本政府観光局（JNTO）
企画部調査研究グループ

目次

I 調査概要

調査概要	3
報告書の見方	3
標本構成（居住国・地域別、韓国内・台湾内・中国内・米国内居住地域別）	4
本報告書ご利用にあたって	6

II 分析編

(1) 訪問率一覧	9
① 地方別訪問率	9
② 都道府県別訪問率	10
③ 都市・観光地別訪問率	11
④ 主要5市場動向（韓国、台湾、中国、香港、米国）	12
⑤ その他12市場の訪問率	22
⑥ その他	33
(2) 基本クロス表	34
① 訪日目的	34
② 観光客の訪日回数	35
③ 観光客の旅行形態	37
④ 観光客が訪日前に期待したこと、訪日後に満足したこと	38
⑤ 特に満足した日本の食事	41
⑥ 旅行同伴者	43
⑦ その他	44
(3) 訪問地分析	45
① 地方別入込客状況	45
② 都道府県別入込客状況	47
③ 都市・観光地別入込客状況	50
④ 調査時期別地方・都道府県別入込客状況	51
⑤ その他	51

Ⅲ 統計資料編

統計資料編の構成について	55
(1) 訪問率一覧	57
・2010年市場別訪問率一覧（訪日客全体）	57
・2010年市場別訪問率一覧（観光客のみ）	84
・2010年訪日目的・訪日回数別訪問率	111
・2010年調査時期別訪問率	138
・2010年入国港・出国港別訪問率	152
(2) 基本クロス表	179
・2010年市場別宿泊日数	179
・2010年訪日目的・訪日回数別宿泊日数	180
・2010年市場別性・年齢	181
・2010年訪日目的・訪日回数別性・年齢	184
・2010年市場別訪日目的	187
・2010年訪日回数別訪日目的	188
・2010年調査時期別訪日目的	189
・2010年入国港・出国港別訪日目的	190
・2010年市場別入国港	191
・2010年訪日目的・訪日回数別入国港	192
・2010年市場別出国港	193
・2010年訪日目的・訪日回数別出国港	194
・2010年市場別訪日回数	195
・2010年市場別訪日回数（観光客のみ）	197
・2010年訪日目的別訪日回数	199
・2010年市場別訪日前に期待したこと	201
・2010年市場別訪日前に期待したこと（観光客のみ）	203
・2010年訪日目的・訪日回数別訪日前に期待したこと	205
・2010年市場別訪日後に満足したこと	207
・2010年市場別訪日後に満足したこと（観光客のみ）	209
・2010年訪日目的・訪日回数別訪日後に満足したこと	211
・2010年市場別特に満足した食事	213
・2010年性・年齢別特に満足した食事	214
・2010年市場別国内宿泊手段	215
・2010年訪日目的・訪日回数別国内宿泊手段	216

・2010年市場別旅行形態	217
・2010年市場別旅行形態（観光客のみ）	218
・2010年訪日目的・訪日回数別旅行形態	219
・2010年市場別今回旅行中の日本以外での宿泊有無	220
・2010年市場別旅行同伴者	221
・2010年市場別旅行同伴者（観光客のみ）	222
・2010年訪日目的・訪日回数別旅行同伴者	223
・2010年市場別役に立った情報源	224
・2010年市場別役に立った情報源（観光客のみ）	227
・2010年訪日目的・訪日回数別役に立った情報源	230
(3) 訪問地分析	233
・2010年訪問地別宿泊数・訪問回数	233
・2010年訪問地別訪日目的・旅行形態	246
・2010年訪問地別入国港・出国港	259

巻末資料

① 訪日外客訪問地調査 年度／年別 調査概要 および 結果収録書籍名称	272
② 地方別・都道府県別 訪問率の推移（1985年度-2010年）	273
③ 都道府県別 訪問率および順位の推移（1997年度-2010年）	274
④ 訪日目的の推移（1984年度-2010年）	275
⑤ 旅行形態の推移（1985年度-2010年）	276

調査票	277
-----	-----

日本政府観光局（JNTO）調査・統計出版物のご案内	279
---------------------------	-----

I 調査概要

調査概要

調査時期

冬（2010年2～3月）、春（5～6月）、夏（7～8月）、秋（9～10月）

調査項目

- (1) 日本旅行中の訪問地、滞在期間、利用宿泊施設等
- (2) 訪日外客の属性（居住地、性、年齢）、訪日目的、訪日回数、旅行形態等
- (3) 訪日前に期待したこと、訪日後に満足したこと

調査対象

日本旅行を終え、新千歳、仙台、成田、羽田、中部、関西、福岡、那覇の各国際空港および博多港（海港）から出国しようとしている滞在期間が2日以上、3カ月以内の外国人旅行者

調査方法

各空港の出国待合室において、外国語能力を備えた調査員がインタビュー形式で質問し、調査員が調査票に回答を記入した。言葉が通じない場合は、調査対象者が最も回答しやすい言語（英語・中国語〔繁体字及び簡体字〕・韓国語・タイ語・フランス語・スペイン語・ロシア語）で表記されている調査票を選び、自ら記入した。

標本数

21,342票（冬：5,097票、春：4,814票、夏：5,620票、秋：5,811票）

報告書の見方

- ・グラフ中のnまたはNは回答者の総数を表す記号である。
- ・回答比率は回答者総数（nまたはN）を100%として算出し、集計結果は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで示してある。そのため、百分比の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は回答比率の合計が100%を超えることがある。
- ・本報告書における「〇〇人旅行者」、「〇〇人観光客」、「〇〇市場」に入る国・地域名は、その旅行者、観光客の国籍ではなく居住国・地域を指す。

標本構成

図表1-1 居住国・地域別標本構成

	回答者数	構成比 (%)	訪日外客数 (2010年暫定値)	構成比 (%)
全 体	21,342	100.0	8,611,175	100.0
韓国	5,569	26.1	2,439,816	28.3
台湾	3,281	15.4	1,268,278	14.7
中国	3,057	14.3	1,412,875	16.4
香港	1,485	7.0	508,691	5.9
タイ	413	1.9	214,881	2.5
マレーシア	266	1.2	114,519	1.3
シンガポール	382	1.8	180,960	2.1
インド	196	0.9	66,819	0.8
豪州	573	2.7	225,751	2.6
米国	2,120	9.9	727,234	8.4
カナダ	363	1.7	153,303	1.8
英国	524	2.5	184,045	2.1
ドイツ	518	2.4	124,360	1.4
フランス	417	2.0	151,011	1.8
ロシア	87	0.4	51,457	0.6
ベトナム	40	0.2	41,862	0.5
フィリピン	64	0.3	77,377	0.9
インドネシア	91	0.4	80,632	0.9
イタリア	212	1.0	62,394	0.7
スペイン	177	0.8	44,076	0.5
メキシコ	40	0.2	19,248	0.2
その他	1,467	6.9	461,586	5.4

図表1-2 韓国内居住地域別標本構成

	回答者数	構成比 (%)
全 体	5,569	100.0
ソウル特別市	2,601	46.7
釜山広域市	762	13.7
京畿道	761	13.7
仁川広域市	214	3.8
慶尚南道	205	3.7
大邱広域市	201	3.6
大田広域市	134	2.4
慶尚北道	118	2.1
忠清南道	98	1.8
全羅北道	75	1.3
蔚山広域市	70	1.3
光州広域市	67	1.2
全羅南道	67	1.2
江原道	60	1.1
忠清北道	52	0.9
済州特別自治道	23	0.4
韓国不明	61	1.1

図表1-3 台湾内居住地域別標本構成

	回答者数	構成比 (%)
全 体	3,281	100.0
台北県 (台北市・基隆市含)	1,821	55.5
台中県 (台中市含)	393	12.0
高雄県 (高雄市含)	257	7.8
桃園県	199	6.1
新竹県 (新竹市含)	179	5.5
台南県 (台南市含)	163	5.0
彰化県	54	1.6
嘉義県 (嘉義市含)	49	1.5
雲林県	31	0.9
宜蘭県	21	0.6
屏東県	21	0.6
花蓮県	16	0.5
苗栗県	15	0.5
南投県	14	0.4
台東県	5	0.2
澎湖県	2	0.1
金門県	1	0.0
連江県 (馬祖)	1	0.0
台湾不明	39	1.2

図表1-4 中国内居住地域別標本構成

	回答者数	構成比 (%)
全 体	3,064	100.0
上海市	630	20.6
北京市	513	16.7
広東省	399	13.0
遼寧省	297	9.7
江蘇省	235	7.7
浙江省	204	6.7
山東省	165	5.4
天津市	79	2.6
福建省	60	2.0
四川省	58	1.9
吉林省	41	1.3
河北省	38	1.2
湖北省	37	1.2
黒竜江省	34	1.1
河南省	32	1.0
山西省	29	0.9
陝西省	28	0.9
雲南省	23	0.8
湖南省	22	0.7
安徽省	21	0.7
広西チワン族自治区	20	0.7
内モンゴル自治区	17	0.6
重慶市	15	0.5
江西省	14	0.5
貴州省	8	0.3
海南省	6	0.2
新疆ウイグル自治区	4	0.1
甘肅省	3	0.1
青海省	-	-
チベット自治区	-	-
中国不明	32	1.0

図表1-5 米国内居住地域別標本構成

	回答者数	構成比 (%)
全 体	2,120	100.0
カリフォルニア州	477	22.5
ニューヨーク州	194	9.2
テキサス州	144	6.8
ワシントン州	98	4.6
イリノイ州	88	4.2
ミシガン州	74	3.5
バージニア州	69	3.3
オハイオ州	62	2.9
フロリダ州	58	2.7
ペンシルベニア州	58	2.7
マサチューセッツ州	58	2.7
ニュージャージー州	46	2.2
ワシントン特別区 (首都)	42	2.0
メリーランド州	41	1.9
コロラド州	38	1.8
ノースカロライナ州	36	1.7
ジョージア州	35	1.7
オレゴン州	33	1.6
アリゾナ州	31	1.5
テネシー州	28	1.3
コネティカット州	27	1.3
ハワイ州	26	1.2
ミズーリ州	26	1.2
ミネソタ州	24	1.1
ユタ州	24	1.1
インディアナ州	23	1.1

	回答者数	構成比 (%)
全 体	2,120	100.0
ケンタッキー州	22	1.0
ウィスコンシン州	21	1.0
ネバダ州	20	0.9
サウスカロライナ州	19	0.9
アイオワ州	18	0.8
アラバマ州	13	0.6
ニューハンプシャー州	13	0.6
カンザス州	12	0.6
ニューメキシコ州	12	0.6
アーカンソー州	10	0.5
アラスカ州	10	0.5
モンタナ州	9	0.4
ルイジアナ州	9	0.4
ロードアイランド州	8	0.4
オクラホマ州	7	0.3
メイン州	7	0.3
アイダホ州	5	0.2
サウスダコタ州	5	0.2
ウェストバージニア州	4	0.2
ネブラスカ州	4	0.2
バーモント州	3	0.1
ミシシッピ州	3	0.1
ノースダコタ州	2	0.1
ワイオミング州	2	0.1
デラウェア州	1	0.0
米国不明	21	1.0

本報告書ご利用にあたって

本調査が行われた新千歳、仙台、成田、羽田、中部、関西、福岡、那覇の各国際空港および博多港の9空港で外国人旅行者数全体の約90%を占めておりますが、他の空港や港への定期便・チャーター便、旅客クルーズ船が考慮されておられません。また、一時的な大型イベントや国際会議などへ参加する外国人旅行者も、調査期間が重なっていないことから、調査結果に含まれない場合が多く見られます。そのため、本報告書では訪問率（＝訪問者数/該当者数）という概念を使用していますが、特に一部地方においては訪問率が実際の訪問実態よりも低く反映されている可能性があります。

また、本調査における標本数21,342票は、前年の訪日外客統計に基づき、調査地点別、居住国・地域別の回収目標数を設定しております。そのため、当該年（年度）の国別訪日客数構成とは異なるものであることをご了承ください。

以上の点をご理解の上、インバウンド・ツーリズム振興のために、本報告書を活用していただければ幸いです。